

市政を問う

一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。

(QRコードは、株式会社デンソーウェアの登録商標です。)



優しいまちづくりを目指して、命を守る交通安全対策について  
高橋政美議員  
(市議会公明党)



誰一人取り残さない優しいまちづくりを目指して

質問

① こだいら生活相談支援センターで重層的支援体制整備事業がスタートしたが、若者向け就労支援として、はたらく一歩応援相談事業も連携しては。

② JOY-JOBKODAIRAの事業者と協働し、社会復帰訓練事業を実施すべきでは。

市長 ① はたらく一歩応援相談会を実施する際は同センターに情報提供し、就労に向けた相談につながるなどの連携をしている。② 就労意欲のある人には、社会生活の自立等のための訓練が可能なハローワークを案内して

市民の命を守る交通安全対策について

いる。引き続き支援していく。

質問

① 青梅街道を自転車通勤等する人が府中街道との交差点を通過する際、歩道の利用が見受けられる。特に南側歩道は狭いため歩道を広げるべきでは。

② 小平警察署と市内高校が協力し、自転車マナーアップキャンペーンを実施すべきでは。

市長 ① 東京都管理の道路のため交通管理者と東京都に伝える。② 今後、小平警察署と市内高校代表者が参加する交通安全対策協議会で共有し、キャンペーン実施の意見を聞いていく。



住みやすい小平のまちづくり、南東部地域等の諸課題の改善を  
橋本孝二議員  
(市議会公明党)



住みやすい小平のまちづくりを

質問

① 公共施設全般に関するフォーラム等を実施すべきでは。

② 中央エリアに係る整備事業等に向けた取組について、より一層の周知をすべきでは。

市長 ① 公共施設マネジメント基本方針策定の際はワークショップ形式の市民会議を設置等し、広く意見を聴取した。以降も市民説明会等を実施している。引き続き理解が広がるよう努める。

② 7年度もオープンハウス等を実施するほか、引き続き動画配信などSNSを積極的に活用し、情報発信をしていく。

南東部地域等の諸課題を改善するため

質問

① みよし公園等のトイレは早期に改修等し、快適で清潔なトイレに改善すべきでは。

② 喜平橋西側歩道の人道橋の新規設置について、早期に対応すべきと考えるが見解は。

市長 ① 更新時期が到来していないため新設は考えていないが、適切な清掃や修繕に努め、快適化への取組を検討する。

② 道路管理者である東京都によると、新たな人道橋の整備に向け現在検討を進めている。喜平橋交差点全体の改善がされるよう引き続き東京都へ要望する。



市ホームページに掲載中の中央エリア整備についての動画



20年を見据えたDX、子ども食堂等への支援について  
深谷幸信議員  
(自民党小平政和会)



20年を見据えたDX推進とデジタル行政の再設計に向けて

質問

① 20年の市役所の理想状態を描くDXビジョンの策定の進め方は。また、市民や専門家の意見を反映する考えは。

② 住民サービスの質を高めるため、ユーザー視点でのサービス設計に関する取組は。

市長 ① 若手職員を中心に20年の姿を検討し、バックキャストイングで考える手法を進める。市民等の意見を反映する仕組みはないが、専門家であるデジタル政策委員の意見を取り入れる。

② 窓口に行かなくても済むサービスの充実等を図っている。

子ども食堂や誰でも食堂の活動を支える支援施策について

質問

① 子ども食堂・誰でも食堂の役割に対する市の評価は。

② 子ども食堂・誰でも食堂に対する支援や補助の方向性は。

市長 ① 食事の提供だけでなく、安心して場所の提供や地域交流等、地域のつながりをつくる上で重要な役割を果たしている。

② 側面的な支援を継続してきしたが、物価高騰等を踏まえ、関わり方を改めて検討する必要がある。策定中の仮称子ども計画で支援の方向性を整理していく。



子ども・若者たちのために、小川東町の課題について  
幸田昌之議員  
(市議会公明党)



小平の未来を担う子ども・若者たちのために

質問

① 放課後の居場所としての児童クラブや、放課後等デイサービスの今後の計画は。

② 先進自治体を実施していることも議会を実施すべきでは。

市長 ① 児童クラブは教育委員会と連携しながら空き教室を活用してクラスを分けるなど、適切な保育環境を確保する。放課後等デイサービスはサービスの品質と必要な量を確保するため、事業者との意見交換等の機会を捉えて、開設を働きかけていく。② 子ども・若者が意見表明し、主体的に参加できる取組を検討

変化する小川東町の課題について

質問

① 小平元気村おがわ東の更新をしないことへの利用者等の不安を解消すべきでは。

② 小平元気村おがわ東の屋内広場に冷暖房設備を設置しては。

市長 ① 今後15年程度は施設を維持する想定であることを施設内にお知らせを掲示し周知している。各機能の移転先の検討は意見交換等しながら進めていく。② 屋内広場も今後15年程度は維持していく見通しが定まったことを踏まえ、財政状況も勘案しながら設置を検討していく。



SAFを通じた資源循環活動、事業の見える化と電子申請状況  
岩本 誠議員  
(フォーラム小平)



持続可能な航空燃料、SAFを通じた資源循環活動のために

質問

① 東京都が廃食油の回収キャンペーンを進めており、小平市も5月から連携している。市の広報宣伝活動の進め方は。

② キャンペーンの期限が10月31日に設定されたのはなぜか。

市長 ① 東京都から依頼を受け、市報や市ホームページ等を活用して広報に努めている。

② 東京都によると、東京2024オリンピック等の選手が自国に帰る際の航空機燃料として、集めた廃食油を活用したSAFを使用する時期を想定している。

補助金等が直接交付される事業の見える化と電子申請状況

質問

① 補助金等対象事業を総合的に俯瞰できる仕組みは。

② 先着順の補助金等対象事業に関して、市ホームページにアルタイムでの進捗の見える化機能を設置できないか。

市長 ① 市の主な事業を俯瞰できる資料として、毎年度、わかりやすい予算を作成している。補助金等が直接交付される事業は担当課で周知している。

② 補助金は郵送や電子申請等、様々な方法で受け付けており、リアルタイムでのお知らせは困難だが他市の事例等を研究する。



地域コミュニティの醸成を、子どもの居場所づくり  
川里富美議員  
(フォーラム小平)



地域コミュニティの醸成をどのように図るか

質問

① 地域コミュニティ担当課長の下、どういう体制で何を目標とした業務をしているのか。

② 全身が映る鏡が設置されている公共施設の貸し部屋の数は。

市長 ① コミュニティ担当4名で、地域コミュニティの醸成を図ることを目標に仮称地区交流センターの検討等を行っている。② 地域センターは4施設に合計6部屋、東部市民センターに2部屋、福祉会館に1部屋、市民総合体育館に1部屋、ルネこだいらに5部屋ある。

子どもの居場所づくりに市を挙げて取り組むべき

質問

① 不登校児童・生徒の居場所づくりのため、市主導で、仮称不登校サポート連絡協議会を設置しては。

② 学校以外の居場所と学校との連携のために、専用の連絡ツールを市で用意しては。

市長 ① 関係機関の顔の見える関係づくりが大切であり、子どもの居場所づくりの事業の開始に合わせ、関係機関の効果的な連携の在り方を検討していく。② 今後相互の連携を進めていく中で必要性等を検討していく。